

## 「平成29年度シルバーリハビリ体操指導士感謝状贈呈式」を開催しました

さる、5月17日（水）茨城県立健康プラザにおいて、知事出席のもと、永年にわたりシルバーリハビリ体操指導士として、地域住民の健康づくりや介護予防の推進に貢献された方々に対し、感謝状が贈呈されました。

表彰制度は、シルバーリハビリ体操指導士の活動の活性化を目的に平成27年度から始まったもので、1級体操指導士を7年以上務めた方などが対象となり、知事賞219名、保健福祉部長賞35名、健康プラザ管理者賞168名の計422名が受賞しました。

受賞者を代表し、城里町の住谷里子さんから「知事賞受賞を新たなスタートととらえ、今後とも介護予防を推進するために地域に密着した活動を続け、高齢者がいばらきに住んでよかったと思えるような地域づくりを目指したい」とのお言葉を頂きました。

シルバーリハビリ体操は、関節可動域の拡大や筋肉のストレッチが中心で、これまでに講習を受けた指導士7,878名（5月末現在）が各地域で普及活動に取り組んでいます。昨年度は、体操教室に延べ約61万人が参加しました。

受賞を機に、シルバーリハビリ体操のさらなる普及活動に向け、指導士の皆様に益々ご活躍頂きますとともに、県民の皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。



知事，保健福祉部長，大田管理者，受賞者の記念撮影



知事賞の贈呈



代表者の謝辞